

熊野 クチコミ隊が行く!

温泉満喫体験記

足湯●癒し処 からす屋 熊野本宮



タオルを貸してくれるので、手ぶらでも大丈夫。古道歩きや大社参詣の途中、バス待ちの間などに気軽に立ち寄れます。



熊野古道を歩いた後にはのんびり癒しの足湯を満喫!

「癒し処からす屋 熊野本宮」は、今年5月にオープンした人気の足湯スポット。癒しの空間としてだけでなく、熊野のさまざまな情報発信&交換の場として注目を集めています。

足湯には、渡瀬温泉の天然温泉を使用。湯船に浸かると熱めの湯がじんわりと染み入り、なんともいえない心地よさ。しばらくすると、体の芯からポカポカと温まります。湯上がりには驚



〒田辺市本宮町本宮246
☎0735-42-1675
☑8:00~19:00 閑無休
☒足湯入浴料200円、小学生以下無料

くほど足が軽くなり、リフレッシュ効果も抜群です。

小腹が空いたら食事もOK。山菜釜めし(800円)ほか、朝摘みの野菜や地元の山菜を使った手作りの味がお腹も心も満たしてくれます。

スタッフの中には、語り部も多いというこちら。熊野本宮大社前と便利な場所にあるので、情報収集も兼ねて立ち寄ってみては。

スローフード体験記

語り部の宿●内湯民宿 小栗屋



蘇り伝説が伝わる温泉郷で小栗判官ゆかりの宿に泊まる

奥熊野の山あいに湧く湯の峰温泉。1800年前に発見された日本最古の温泉といわれ、熊野詣の「湯垢離場」として栄えてきました。死の淵をさまよった小栗判官が湯の峰の「つぼ湯」に浸かり、見事に蘇ったというドラマチックな伝説も残っています。

内湯民宿「小栗屋」は、この小栗判官物語のロマンを今に伝える語り部の宿。2代目のご主人・安井理夫さんは、小栗にまつわる史跡や伝承を熱心に研究され、小栗判官物語の語り部としても長く活躍されてきました。夕食の後は、いよいよ安井さ

んの出番。映像を交えながら、小栗や熊野古道にまつわる興味深い話を聞かせてくれます。小栗が蘇生するまでの様子を描いた「小栗判官絵巻」をはじめ、本棚には関連資料や書籍などもズラリ。小栗ゆかりの宿で過ごす一夜が、熊野の思い出をより奥深いものにしてくれます。

季節感溢れる山菜料理とこだわりの温泉料理もこちらの自慢のひとつ。温泉でじっくり炊いた鮎の甘露煮や、胡麻ダレにつけていたただくイタドリなど、熊野ならではの贅沢な味覚を満喫できました。

夜の料理の一例で、自家製の「刺身こんにゃく」、温泉の香りが広がる「温泉湯どうぶ」、[松茸の土瓶蒸し]など。いずれも手作りの優しい味わいです。



〒田辺市本宮町湯の峰161
☎0735-42-0103
☑チェックイン/15:00 チェックアウト/9:30
☒無休 ☒1泊2食7500円(GW・お盆・正月は8500円)